



松尾参事官に要求書を手交する岡田委員長



賃下げ下請け機関になるな

人事院 水準差でも真摯な対応なし

公務員の賃金や労働条件切り下げの下請け機関では存在意味がなく、代償機関とは到底言えないことを指摘しました。

以下、主な回答と人事院の対応。

賃金水準差は対応号俸で差額を

6月5日、全国税本部は、賃金改善に関する要求で人事院本院と交渉を行いました。

冒頭、07人勤について質したのに対し、対応した松尾参事官は「民間給与調査は6月15日に終了予定だが、小点数の下にゼロが二つ続く上乗せ程度で樂觀できる状況ではない」とし、昨年に続き本俸引き上げ見送りを示唆する回答をしました。

ところが、日本経団連が6月6日に発表した大手企業の妥結額(定昇・ベアアップ込み)は6202円、賃上げ率は1.90%と3年連続で前年を上回っており、昨年から比較規模を50人以上に引き下げ、賃金抑制に加担する人事院の「操作」が中間集約にモロに反映していることが浮き彫りとなつています。

行(二)職俸給表の引き上げと昇格運用の改善を強く迫りましたが、新給与制度に移行した時、行(二)職俸給の引き下げ率を行(一)の4分の1と配慮したとして引き上げには消

極姿勢でした。昇格運用では、包括承認基準の部下数制限について、行(二)職の定員削減に理解を示し工夫して欲しいと言いつつ、撤廃を拒否しました。

数値目標たて登用拡大を

5・29 女性部が庁交渉 意見受けとめた一元化試行を

全国税女性部は5月29日、国税庁と交渉を行いました。

ポスト発令問題

女性部 「女性の採用・登用拡大計画」を、効果あるものにするため、数値目標をたて是正すること。

当局 人事院指針に基づき積極的な登用に努めるが、数値目標設定は考えていない。年齢階層に注意し6級ポストに適正に配置していく。また、18年4月の「採用計画」に基づき今後も女性の割合割合は確保していく。

女性部 東京局の6級発令をみても、女性は45年採用で50%、46年採用30%、47年採用42%とま

賃金改善

要求押しよげに劣

女性行(二)

矛盾が大きい地域手当てについて、見直しや官署指定を求めたところ、矛盾は認識しつつも「5年で制度を完成させるので、その間はいじらない」と当たり前のことを繰り返すに止まりました。

組合所属による差別に對して人事院として動くべき、との要請には、「あつてはならないこと」と当たり前のことを繰り返すに止まりました。

件を見直す気がない不当な姿勢に終始しました。上席6級格付けについては、改訂する状況にないと拒否しました。

労働時間・拘束時間の問題では、「民間で所定内労働時間も調査する」とだけ回答するに止まりました。



一元化試行問題

女性部 一元化試

りて、同年代の男性は60%以上になっている。普通科・国専女性は発令はあるが、年度採用女性を残したため差がついている。団塊世代の退職が増えるので登用を抜本的に図るチャンスだ。

当局 公務の要請の許す限り個々の健康状態や家庭、通勤事情等に配慮する。そのため身上申告書は重要で、機能をいかすよう最大限努力している。「特定事業主行動計画」に基づき、子育て中の職員は配慮する。

262,600円で退職に追いこむな

行(二)対策部が怒りの緊急交渉 勝手な都合でカットするな 生活給の超勤手当を



行に従事する職員の労働軽減のため十分な人員確保、研修の充実、マニユアルも早急に作成せよ。

当局 最適化計画に基づきIT化やアウトソーシング化、事務の合理化・効率化を図っている。21年度一元化全署拡大に向け、必要人員は18年度の事務量を基に見直しを行う。十分な研修と確実な打ち合わせも指示している。事務処理手順

の改定作業は終了した。

女性部 一元化担当の現状は、各部門がそれぞれの事務をこなすのが精一杯。また、確定期は一元化体制が崩れる。

(この後、試行開始後5年間訴え続けたことが取り入れられず、個人課税の内部担当は減らされていること等を当局に訴えました。)

全国税 6月22日に63歳になる鎌田さん(高松局)の本俸は2・89で262,600円だ。他省庁より遅れている昇格問題は、庁の怠慢さが原因だ。

当局 部下数制限の緩和と上位級発令について人事院に要望し、一人でも多くの職員が上位級に昇格できるように可能な限り努力している。

全国税 用務員さんが3級で定年退職を迎えるかは死活問題だ。上期での発令を確約せよ。

当局 発令の確約できないが、努力は確約する。

全国税 行(二)職員の将来不安を駆りたて、士気を著しく低下させ、働く意欲を喪失させている現実、心ときずなを壊している現実に危機感を持つべきだ。その意味でも、262,600円の本俸で定年に追い込むことのないよう直訴する。

全国税 40歳になる用務員の中塚さん(東京局)の本俸は1・95で220,500円で、1級で4号昇給しても2,100円上がるだけ、2級なら4,600円になり該当者にとっては喉から手が出る。

当局 結果が出ないからと努力してない訳ではない。

署長は行(二)職員昇格のノウハウも不足している。庁がインシアチブを発揮せよ。

全国税 「超勤縮減」を口実に、当局の勝手な都合で一方的に取りあげた。

当局 機械的、画一的にとり上げるものではないと、長官も回答したところだ。

全国税 昨年秋に実施したアンケートでも改善の兆しがみられない。国税労組も「開門業務等を行っている実態に合わせて、確実に超勤命令を行う」よう要求している。

当局 実績に基づいて的確に把握し支給されていると考えている。

全国税 当局が的確に超勤命令を出しているかがこの問題のカギだ。税務の職場を支えている行(二)職員にとって、超勤手当は生活給だ。

用務員さんを例にあげれば、本人が希望すれば月40~50時間の命令を出すべきだと、再三申し入れている。庁が率先して、この申し入れを再度検討するよう求める。

女性部 育児短時間勤務

女性部 育児短時間勤務

女性部 育児短時間勤務

女性部 育児短時間勤務

女性部 育児短時間勤務

女性部 育児短時間勤務

女性部 育児短時間勤務

女性部 育児短時間勤務

女性部 育児短時間勤務

女性部 育児短時間勤務

目前にせまってきた参院選挙(7月5日公示、22日投票予定)その結果は、私たちの生活と日本の進路に重大な影響を及ぼすだけでなく、公務員労働者の将来をも左右する切実な要求の私たちが切実に実現していく立場から、政治革新をめざします。



まぢかの選挙 ストップ・ザ・公務員叩き 怒りの投票行動で反撃を

度をかした強引さ 支持率急落に焦り 郵政民営化総選挙で得た議席数にまかせ、目先の参院選挙への思惑から「悪法」を次々と強行成立させてきた安倍内閣。

ここにきて、年金記録ミス問題や「政治とカネ」問題が引き金になり、支持率を急落させました。その焦りから、「年金時効停止」を急落させました。その焦りから、「年金時効停止」を急落させました。その焦りから、「年金時効停止」を急落させました。



別荘天国 消費税引き上げ反対 特選社会の修正を!

案」を衆院で可決させるよう吠えました。公務員バッシングで支持率アップに躍起

安倍・自公政権は、参院選を勝ち抜くため、「ストップ・ザ・公務員天国」を呼び、公務員バッシングを強めて、支持をかすめ取るつもりです。

止特例法案「ストップ・ザ・公務員天国」を急ごしらえで国会で提出。未明の衆院本会議で押し切ったかと思えば、夜が明けると同じ日に安倍首相は「公務員制度改革関連法



と批判。公務員攻撃を競い合っています。こうした公務員叩きに対する怒りを投票行動で示し、公共サービスを守ることを、政党・候補者選択の基準とする必要があります。

この間、業務をバラバラに民間委託することや、年金制度空洞化への対応等の本質的議論はほとんど行われず、民主党が政府案を「特殊法人で焼け太りする看板架け替え」と批判すれば、与党は民主党案を「公務員の身分を温存するもの」

あまりに軽すぎませんか

社保庁解体 雇用直撃の大問題なのに

「国税東京」5月31日付第1016号は、4面にNHK総合テレビ「日曜討論」に関する記事を掲載(別掲)。記事といっても、「日曜討論」出席者の一部の人の一部の発言を評価抜きで載せただけ。「いったい何が言いたいのか」と、職場で話題になりました。

職員雇用を直撃する社保庁の解体

討論のテーマの一つが「社会保障改革」。司会者が「社会保障庁を解体して」と言うように、単なる改革ではなく「解体」なのです。働いている職員の雇用は大問題です。それだけに労働組合と



また、民主党が提案し

「この問題にどのような立場をとるのか意見が問われるのです。全国税はこの問題に対する見解を機関紙でも表明したところ(3月25日付・第1848号)。

国税職員雇用も脅かす「歳入庁」

また、民主党が提案し

「歳入庁」を提案し、また、民主党が提案し

「この問題にどのような立場をとるのか意見が問われるのです。全国税はこの問題に対する見解を機関紙でも表明したところ(3月25日付・第1848号)。

国税職員雇用も脅かす「歳入庁」

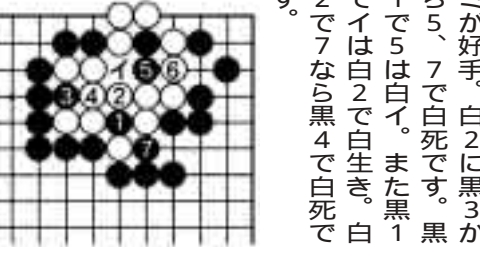
また、民主党が提案し

「この問題にどのような立場をとるのか意見が問われるのです。全国税はこの問題に対する見解を機関紙でも表明したところ(3月25日付・第1848号)。

「この問題にどのような立場をとるのか意見が問われるのです。全国税はこの問題に対する見解を機関紙でも表明したところ(3月25日付・第1848号)。

国税職員雇用も脅かす「歳入庁」

また、民主党が提案し



詰碁 黒1のホウリコミが好手。白2に黒3から5、7で白死です。黒1で5は白1。また黒1で1は白2で白生き。白2で7なら黒4で白死です。

「東海地連」 親が子どもによく言う言葉は「早くしなさい」や「片付けなさい」。税務の職場では膨大な申告書を前に適正とは言えない処理が行われています。

千葉県にはもう転動できない! 地域手当の異動保障切れで、損失が100万円超

【東京・東京都】 普通に転勤 しかし転勤先の地域手当支給率が0%だとすると異動保障切れとなる3年目には上席(545の場合)で年間約130万円(2年目は20%減の約27万円)も減収。千葉市内3署など10%支給率の場合でも約60万円の減収です(2年目は前記例同)。県下の職場は始業時間が早く、管轄が広く出張が大変。「地獄の確申期」の混雑・忙しさ。加えて130万円の減収では我慢の限界を超えます。「これじゃあ千葉県には転動できない!」というのが正直なところです。

【東海地連】 親が子どもによく言う言葉は「早くしなさい」や「片付けなさい」。税務の職場では膨大な申告書を前に適正とは言えない処理が行われています。